

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

研究課題名：口腔癌における臨床病理組織学的所見の潜在性転移予測因子としての有用性の検討

研究の目的

口腔癌のリンパ節転移は予後を左右する重要な因子の一つであり、転移の制御は臨床上的大きな課題です。一方、臨床的にリンパ節転移が認められない場合でも 20~40%には潜在性リンパ節転移があることがわかっていますが、画像検査等で見つけることはできません。そこで私たちは、病理組織検査に着目しました。口腔癌の診断には顕微鏡を用いた病理組織検査を行います。本研究では、口腔癌の潜在性リンパ節転移のある方とない方の病理標本を比較することによって、潜在性リンパ節転移に特徴的な病理組織像を明らかにし、診断時に潜在性リンパ節転移が予測・診断できると仮説を立て、これを検証することを目的とします。本研究で口腔癌の診断時に潜在性リンパ節転移の予測・診断ができれば、口腔癌転移の制御に貢献し、予後を改善することが期待されます。

研究実施期間：倫理委員会承認日 ～ 2025年3月31日

対象となる方：2006年4月1日から2022年3月31日までの期間、弘前大学医学部附属病院歯科口腔外科を受診、口腔癌の手術を受けられた方

利用させていただきたい試料・情報について

当院のカルテに記録されている情報のうち、年齢、性別、既往歴、臨床診断、臨床経過、病理組織レポート、手術で摘出された口腔癌の病理標本を標記研究課題実施のために利用します。

具体的には、口腔癌の病理標本を顕微鏡で観察し、潜在性リンパ節転移のある方とない方の比較することによって、潜在性リンパ節転移に特徴的な病理組織像を明らかにし、診断時に採取された病理標本で、潜在性リンパ節転移を予測・診断できるかどうかを検証します。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して（これを匿名化といいます）、行います。研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん／その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承ください。

本件連絡先 弘前大学医学部附属病院歯科口腔外科 助教 古舘 健 0172335111